

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小諸発！ドリーム列車“絆”
事業主体 (連絡先)	一般社団法人小諸青年会議所 (小諸市相生町3-3-12 電話0267-23-7854 代表：長井邦義)
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,252,290円 (うち支援金：2,397,000円)

事業内容

1. 地域の「宝」さがし、絵画ワークショップ「みんなの小諸を描こう」開催

実施時期：平成26年7月5日～6日開催

実施場所：安藤百福記念自然体験活動指導者養成センター

講師：1名・アシスタント大学生12名 計13名

参加者：46名(小諸・御代田・軽井沢の小中学生)

募集方法：各小中学校に呼びかけ、ポスター等の告知等



2. ラッピング列車

① ラッピング列車の制作

メッセージアート収集枚数：(1,250枚)

メッセージアート収集実施時期：平成26年5月～6月15日

メッセージアート収集実施場所：各地イベントブース出展、
保育・幼稚園、養護学校、
小諸市役所、図書館、
小諸市観光協会、御代田町
役場・商工会、軽井沢観光協会・商工会、東御市観光協会、
しなの鉄道各駅他(小諸、御代田、軽井沢、滋野、田中)

メッセージアート→ラッピングデータ作成：6月15日～8月15日

データ→ラッピング列車作成：8月16日～10月4日



② ラッピング列車の出発式

ラッピング列車出発式：平成26年10月5日(日)

実施場所：小諸駅内

ラッピング列車運行期間：平成26年10月5日～
平成27年5月位まで

ラッピング列車の運行範囲：しなの鉄道管内長野県全域

ラッピング列車運行稼働本数：軽井沢～長野間176本/月

ラッピング列車推定利用者数：23,506人/年



③列車・駅内で浅間山 WEEK を開催

実施時期：平成 26 年 12 月
実施場所：しなの鉄道列車内中吊り・
小諸駅内絵画展示
列車内中吊り掲示期間：12 月中旬より
翌平成 27 年 1 月の期間中展示。



④観光としてのラッピング列車

告知・PR 実施期間：随時
告知・PR 内容：東信地域のイベント、魅力発信等

3.広報活動

青年会議所常設ホームページへ今活動の一連の情報・内容・活動報告について写真等を用い随時掲示する。

しなの鉄道常設ホームページへ列車画像・運行計画等を掲示する。併せて報道各社へも働きかけを行い、情報周知を図った。

掲載ホームページ：小諸青年会議所常設ホームページ
しなの鉄道株式会社常設ホームページ

ホームページ掲載時期：随時

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 地域社会の健全な発展に寄与し、地域住民に多く参加していただき、みんなで作った列車となりました。地域を盛り上げ、小諸の発展に寄与できた。
- ② 文化、芸術振興に寄与し、絵画事業や、メッセージアートなどを通じて文化、芸術振興に繋がった。
- ③ 児童、青少年の健全育成 児童、青少年に多く参加していただき、その個性を生かし、人格を健やかに育てる環境を創出できた。

【目標・ねらい】

- ①地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
- ②教育、文化の振興に関する事業
- ③環境保全、景観形成に関する事業

ラッピング列車出発式参加者：(駅内)300 人

市民意識調査「小諸に住み続けたいと思う人」の割合:68.6%(H24) →64.0% (H25)

小諸ふどまつり参加者数：15,000 人(H25)→10,000 人 (H26)

小諸駅乗降者数の増加：151,046 人 (H25/10) →151,762 人 (H26/10)

懐古園入場者数の増加：26,621 人(H25/10)→29,660 人 (H26/10)

※自己評価【 A 】

【理由】地域住民の参加により、東信を中心とした地域の活性化につながっただけでなく、人と人、団体同士の関係性や結びつきが深められ、新たな交流の機会を創出でき、まちの絆の結束が図れた事業となりました。小諸市の中心部である小諸駅周辺を巻き込み、中心市街地の活性化に寄与しました。また、ラッピング列車の長所である高い広告宣伝効果を用い、東信エリア、浅間山への認知・興味・関心を高められたと感じております。そして、将来を担う子ども達には、ワークショップ等を通じ小諸の自然の豊かさや景観を改めて感じてもらい、郷土を愛する気持ちの種まきができたと感じております。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

引き続き明るい、豊かな小諸をつくるため地域参加型事業を行っていく。そして、今回の事業において関係性を深められた外部協力者・団体と今後の小諸・東信エリアの地域活動を模索していきけるよう協力体制を仰ぎ、積極的に関わっていきたい。

しなの鉄道株式会社、武蔵野美術大学、小諸市、ぺんてる株式会社、小諸市教育委員会、小諸商工会議所、小諸市観光協会、小諸市体育協会、小諸市青少年育成会連合会、御代田町商工会、御代田町観光協会、軽井沢町商工会、軽井沢観光協会、東御市観光協会、信濃毎日新聞社、上田青年会議所、佐久青年会議所、科野青年会議所、軽井沢青年会議所、株式会社長野県民球団(信濃グランセローズ)、さくら保育園、株式会社長野パルセイロ・アスレチッククラブ(AC長野パルセイロ)、ブルーマリンスポーツクラブ、小諸看護専門学校、小諸野岸幼稚園、たちばな幼稚園、安藤百福記念自然体験活動指導者養成センター、東中学校、芦原中学校、山岸喜昭県議会議員、野池明登長野県観光部長、小山敬三美術館、小山敬三記念小諸公募展入選者(宮入謙三様、剣持勇喜男様、井出義和様、常田治子様)

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある